

職員による自己評価

A 環境面

- ・児童発達支援と放課後等デイサービスの活動スペースを適切に分け、発達段階に応じた支援が可能な環境を整えています。
- ・運動プログラムが十分に実施できる広さを確保し、身体活動を通じた発達支援を推進しています。
- ・近隣の公園を活用し、屋外での運動機会を提供することで感覚統合の促進や運動量の確保に努めています。

B 児童への支援内容

- ・児童発達支援では運動プログラムや手指を使った活動を中心とし、個々の発達段階に応じた計画を策定しながら支援を行っています。
- ・放課後等デイサービスでは金銭感覚を養うための計算支援、運動プログラム、手指プログラムなどを組み込み、総合的な発達支援を実施しています。
- ・多様な経験を積みながら社会性や生活力を高められるよう、興味・関心に応じた行事やレクリエーション活動を積極的に企画しています。

C 関係機関との連携

- ・必要に応じてケース会議に参加し、児童一人ひとりの支援方針について関係機関と連携しながら検討を行っています。
- ・送迎時などの機会を活用し、学校と継続的な情報共有を行い、支援の一貫性を確保しています。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・連絡帳を通じて日々の活動や児童の様子を詳細に記録し、保護者との情報共有を強化しています。
- ・月間通信を配布し、支援の進捗などについて定期的に報告しています。
- ・SNSを活用し、毎日の活動内容を発信することで透明性のある情報提供を行っています。
- ・定期的に写真を配布し、保護者が日常の支援の様子を具体的に把握できるようにしています。

E 非常対応

- ・年2回の避難訓練を実施し、連絡帳や通信を通じて保護者へ実施状況を報告しています。
- ・緊急時および防災時の対応マニュアルについては、未配布の状況であるため、今後の整備および配布を検討する必要があります。

保護者による評価

A環境面

- ・身体を動かせる広さの大きさがある
- ・近隣に公園があるのが良いと思う
- ・写真付き職員表をいただいているので先生の顔が見え安心できるが、専門性についてはわからない

B 児童への支援内容

- ・たくさんの活動が用意されていて嬉しい
- ・お出かけを楽しみにしている
- ・最近は似たイベントが多いように思う

C 事業所からの情報発信

- ・毎日写真付きメールを詳しく書いていただいととても嬉しい。

- ・SNSでの発信があってわかりやすい

D 非常対応

- ・年に1回、緊急時の対応のお知らせが欲しい

事業所内での分析

【共通点】

- ・日々のプログラムやレクリエーション、行事の豊富さ
- ・SNSでの配信で活動を確認いただけている
- ・毎日写真付き Web 連絡帳で活動の様子をお伝えしている

【相違点】

- ・非常災害マニュアルの周知と避難訓練の実施
- ・レクやイベントが似たようなものになっている

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・日々子供達を楽しみながら経験を増やせるようなレクリエーションや行事を実施している。
- ・個々に応じた課題からの支援を計画して支援している。
- ・写真付き連絡帳を使用して、活動だけでなく表情なども確認できるようにしている。
- ・毎日 SNS での活動報告
- ・手指プログラムやお金の計算などの実施

事業所の改善点

- ・家族会や家族参加行事の実施
- ・緊急時の対応マニュアル配布
- ・レクリエーションが似たようにならないように工夫する

事業所の改善への取り組み

学校休日の行事は外出含めて、今年度はかなり多くしたので評価はよかった。平日のレクリエーションが似たようなものと感じられている方もいるようなので、もっと工夫したり実施できる内容を増やしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

なかなか面と向かってマイナスのご意見をいただけることは少ないので、こういった機会があつてご意見をいただけ、改善に向けていけるのでとても重要なことと思う。

事業所名 放課後等デイサービス ジュン とつか
担当者 西上 香織